

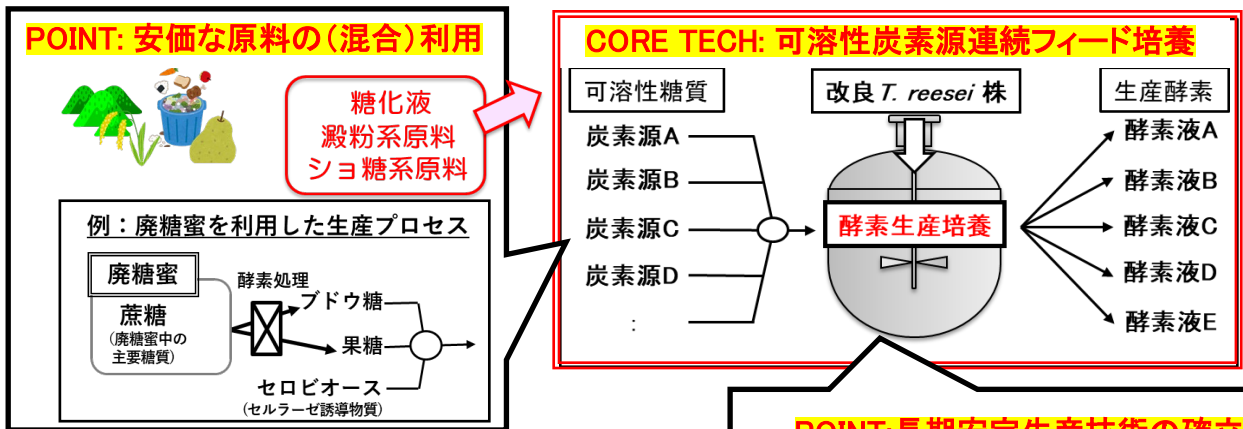
地域資源を活用した酵素製造技術開発

— 「地産酵素」 を介した地域資源循環系の構築へ —

成果の特徴

- ・可溶性炭素源連続フィード培養法をベースに、糸状菌酵素生産システムを効率化
- ・地域で安価に入手可能な糖源を想定した生産系改良と長期安定製造技術の確立
- ・地域に存在する多様な糖質資源を利用した効率的な酵素製造の実現へ

成果の内容

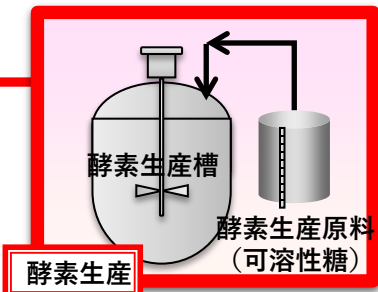
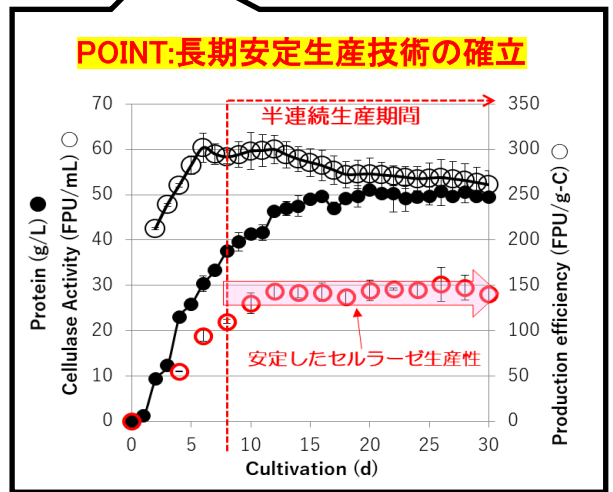


★ポイント

- 糖化液、澱粉（部分）分解物、廃糖蜜を主原料とする生産系を確立。混合利用も可能。
- 培養液量の適切管理による長期生産系を構築。

★現在重点的に取り組んでいる課題

- 実糖液中の酵素生産阻害物質等の検証と工程改良
- 糖蓄積回避（センシング、工程管理等）
- 生産酵素種の拡大（**コラボ先募集中！！**）等々



地域原料で酵素を造る



地域で酵素を使う

酵素の地産地消を通じた
地域資源循環系構築へ

農畜水産業
食品産業 etc.

新産業
創出!?

成果の活用

多様な地域資源を原料とした変換酵素の製造に応用が可能です
様々な有用酵素の地産地消を介した新産業創出に繋がると期待されます